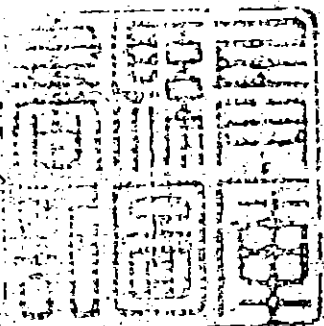


兵庫縣漁業慣行錄

淡水漁業之部
卷之九



兵庫縣漁業慣行録卷之九 淡水漁業之部

播磨國加古郡

加古川 附支流洗川

第一章 漁制

第一款 掟類

第一項 保護ニ關スル事

第二項 漁税ニ關スル事

宇佐村 船町村 上西條村 中西條村

鮎漁業ハ文久三年運上銀ト稱シ漁者一人ニ付年々銀十二匁ヲ本川取締人印南郡都漆村勇助ニ於テ徵收シ勇助ハ之ヲ纏メテ當時ノ領主ニ納メシカ維新後廢税トナレリ

下西條村 西ノ山村

舊藩時代ニハ印南郡都深村勇助ナル者加東郡来住村
 地内ヨリ本郡高砂港ニ至ル迄請川ノ免許ヲ得タリ故
 ニ本村漁者ハ同人ノ下請トシ鑑札ヲ受ケ一區域ヲ金
 若干ト定メ下請セリ其鑑札ハ一枚ニ付銀十匁ヲ同人
 ニ差出ストナリシカ維新以後廢止トナレリ

大野村 中津村

舊藩時代ヨリ明治三年迄中津村地先ヨリ下流高砂港
 ニテ俗ニ龜ノ甲現今ハ橋ヲ架シト唱フル場所迄凡ソ
 五十丁餘ノ場所ヲ寺家町平民川西友太郎ナルモノ數
 代運上銀二百目ヲ納メテ專有漁場トセリ故ニ他ノ者
 新ニ漁業ヲ為サントスル者ハ運上ヲ同人ニ差出シタ
 ル上營業ヲ為シタリ其運上區別左ノ如シ但友太郎ハ
 其内二百目ヲ領主ニ納メタリ

- 一磯打網是ハ一人ニテ陸ヨハ一ケ年銀五匁
- 一鮎川鮎ヲハ銀三百五十匁但一人ニ付五十
- 一鯉川鯉ヲハ銀六百目但一人ニ付三十匁
- 一鱸川鱸ヲハ銀百五十匁但一人ニ付七匁五分

荒井村

本川支流洗川鰯漁業ニ付納稅ス詳細ハ鹹水ノ部ニ掲
 載ス

第二款 規約及慣例

第一項 保護ニ關スル事

下西條村

漁法 漁場一箇所ハ漁夫二人集ル時ハ先着ノ者ヨリ
順次着手シテ同時ニ為サズ但時機ニヨリ甲乙併漁
スルトアリ此場合ニハ捕獲物ヲ折半スルノ例ナリ

第二項 漁業ニ關スル事

第一節 漁權

宗佐村 船町村 上西條村 中西條村

北宗佐村字鑑ヶ端ヨリ南中津村ニ至ル一里十八町ノ
間ハ印南郡外田、池尻、養老、山角、小野、藥栗、都深、見土呂、井
ノ口、國包、及本郡宗佐、船町、上西條、中西條、下西條、西ノ山、
大野、各村入會地曳網漁場トス

鮎漁場ハ北宗佐村ヨリ南、印南郡國包村ニ至ル、凡千五百間、印南郡外田、池尻、養老、山角、藥栗、小野、都深、見土呂、井ノ口、及本郡前記各村ノ入會漁場トス

下西條村 西ノ山村

舊藩時代ニハ本村ヨリ南高砂町ニ至ルノ間ハ印南郡里、池尻、加古川、米田、本郡大野及本村ノ各町村入會場ニシテ其他ノ來源ハ許サ、リシカ維新後ハ其慣行乱レ現今ハ印南郡藥栗、小野、山角、養老、里、池尻、井田、井田新、及本郡西ノ山、大野、中津、河原、本村ノ諸村入會トナレリ

大野村 中津村

舊藩時代ニハ北ハ中津村地先ヨリ高砂町相生橋迄凡五十丁ハ寺家町川西友太郎ノ専有場タリシカ現今ハ北、大野村北境ヨリ南、河原村南境ニ至ルノ間ハ印南郡

池尻、井田、井田新ノ諸村ト共ニ入會漁場トス

荒井村

本村支流洗川字千島橋ヨリ流末迄凡五丁ノ間ヲ本村鰯漁場トス

第二節 仲間加入ノ仕来

宗佐村 船町村 上西條村 中西條村

舊藩時代ニハ新ニ漁業ヲ学マントスルキハ先ツ本川取締人ノ承諾ヲ得テ運上銀ヲ出スニ非ラサレハ之ヲ許サ、リキ

第三節 他方ノ漁夫來源ニ係ル手續

宗佐村 船町村 上西條村 中西條村

舊藩時代ニ在テ入會漁村外ノ漁者新ニ入漁セントスルキハ先ツ本川取締人ノ承諾ヲ得其漁業ニケ月内ト

見積り銀ニ多ク取締人ハ出サレハ之ヲ許サス然レ
 ニ維新後ハ取締人廢セラレ隨テ其法モ廢セリ
 下西條村

舊藩時代ニ在テハ入會漁村外ノ漁夫妻リニ來漁スル
 モノヲ見認ムルキハ直ニ之ヲ停止シタリ

第四節 販賣ノ仕方

宗佐村 船町村 上西條村 中西條村 下西條村
 西ノ山村

捕漁セシ鮎魚ハ直ニ即金ヲ以テ仲買人ハ販賣ス

大野村 中津村

捕漁セシ魚類ハ専ラ自用トナシ尚其餘贏アルキハ近
 隣地方ニ販賣ス

荒井村

捕漁セシ鰯魚ハ直ニ印南郡伊保崎村魚市場ニ運輸シ
 即金ニテ販賣ス

第三款

犯則違例ノ處分

宗依村 船町村 上西條村 中西條村

舊藩時代ニ在テハ總テ規約慣行ニ違背スルモノアル
片ハ之ヲ制シ而シテ該漁具ハ本川取締人ニ取上クル
慣例アリタリ

大野村 中津村

舊藩時代ニハ何人ヲ論セス運上ヲ納ノスレテ漁業ヲ
ナスモノアル片ハ其漁具ハ運上差出人川西友太郎ニ
預リ而シテ其收穫魚ハ悉皆徴収シテ後テ該漁具ヲ本
人ニ返付セシ例アリタリ

第二章 漁撈

第一款 種類

第一項 品名

產出ノ水産物品名左ノ如シ

鰻魚 鯉 鮭 雜サ喉 鱸スギ

第二項 大小輕重

鰻魚

小ナルヲカラヤマト云フ五月頃生ス凡五十日間ニシテ六寸許トナル此量凡翌年五月頃ニ至リ凡一尺此量目十三年ニシテ一尺四五寸トナル此量凡百寒候夕佳味ノ時トス荒井ヨ村ル

鯉

享化後一ケ年ニシテ七八寸トナリ二年ニシテ一尺一

鮎

二寸トナル 中津村調

孚化後百廿日ヲ經過シ三寸トナル 此量凡其當歳ノ大
 寸七寸位ニ及フモノアリ最モ佳味ナルハ十月ニシテ
 普通多キモノハ三四寸ノ頃トス 中西條村調

鱸

海ヨリ上リ来ルモノニシテ其大寸七八寸乃至一尺五
 六寸ノモノアリ 中津村調

第二款 漁期

第一項 期節

捕魚ノ期節尤ノ如シ

品名	期節		鯰魚	鯉	鮎	雜喉	鱸
	宗佐村 上西條村	船町村 中西條村					
	自六月 至翌年一月	九月					
	自四月 至九月	五月 六月	自十二月 至翌年二月	自五月 至十月			
	自一月 至三月	一月					
	自七月 至翌年三月	十月					

第二項 氣象

鮎魚ハ九月頃曇天ニシテ水清ニタル時ハ群集シ殊ニ河

岸ニ寄ル中西條村調

第三項 群衆ノ前兆

第四項 去来ノ期節及方向

年ノ季候ニヨリテ聊異動アリト雖モ概子五月陰大ヲ以テ
来期トシ十一月ヲ以テ去期トス中西條村調○鮎ハ
節分頃水川流末ニ於テ孚化シ三月頃ヨリ漸次遡リ十二
月頃ヨリ漸次流末ニ下ル

第三款 漁場

加古川ハ北、加東郡檜山村ヨリ印南郡井ノ口村該村ノ對
本郡源村宗ニ入り本郡ノ西境ニ沿フテ南流シ高砂港ニ
至テ海ニ注ク延長北、本郡宗佐村ヨリ流末迄二里二十二
丁五十八間ニシテ川幅ハ流末ヨリ上九二里三十五町即
チ船町ニ於テ百廿六間常水ノ片六十八間又流末ヨリ上
九一里十五町即チ中津村ニ於テ百八十間常水ノ時六十
間トス水色ハ渾テ清ク流勢ハ宗佐村ヨリ下一里二十町
即チ神野村邊迄ハ稍急ナリ而シテ水底岩石突起ス以下
概子緩流ニシテ水底ハ渾テ砂石ニ屬ス但支流洗川ハ本
流如古川印南郡船頭村ヨリ分派シ印南郡古新村ニ至リ
更ニ又分派シテ荒井村ヲ經テ海ニ入ル延長古新村二十
九町トス川幅ハ荒井村ニ於テ四十八間常水ノ片三十七

間ナリ水色ハ清ク流勢ハ緩ナリ水底ハ渾テ細砂ニ属ス
 本支川沿村ノ漁業區域ハ左ノ如シ但本流漁撈ノ主ナル
 モノハ鮎ニシテ之レニ垂クモノハ鯉、鯰トス就中漁獲ノ
 盛ナルハ鮎ニ於テハ中西條ニ流末ヨリ上九下西條里同九丁ニ
 鯉及鯰ニ於テハ下西條、西ノ山ニ同九ノ諸村トス又支流洗
 川ノ漁撈ノ主ナルモノハ鯰、鯉トス其源村ハ即チ荒井
 村ニシテ漁額九四五百貫目ヲ下ラサルヘシ
 宗佐村 船町村 上西條村 中西條村
 鮎漁ハ北、宗佐村ヨリ南、印南郡國包村ニ至ルノ間ニ於
 テス○地曳網漁ハ北、宗佐村ヨリ南、中津村ニ至ルノ間
 トス
 下西條村 西ノ山村
 鮎漁ハ本村地内ヨリ下流高砂港迄ノ間ニ於テス

大野村 中津村
 漁業ハ北、大野村ヨリ南、河原村ノ間ニ於テス
 荒井村
 鯉魚ハ支流洗川字千島橋ヨリ流末河口迄ノ間ニ於テ
 漁ス

第四款

入會漁船ノ數

宗佐村

船町村

上西條村

中西條村

一鮎魚漁場

漁船總數

十六艘

但一乘艘

明治十九年六月

内

印南郡都漆村漁船

一艘

同 國包村漁船

一艘

同 井ノ口村漁船

一艘

同 藥栗村漁船

一艘

同 養老村漁船

一艘

本 郡宗佐村漁船

一艘

同 上西條村漁船

二艘

同 中西條村漁船

三艘

舟庫

同 下西條村漁船 二艘
 同 西ノ山村漁船 一艘
 同 大野村漁船 二艘
 當漁場ハ文久元年頃迄ハ僅ニ漁船四艘許ナリシカ
 明治五年頃ヨリ年々増加シ遂ニ本文ノ數トナレリ

第五款 漁具

第一項 漁網及釣具等

漁具現數左ノ如シ

漁具名	鯔魚打網 數 量	鯔魚建網 數 量	鯔魚曳網 數 量	鯔魚打網 數 量	鯔魚碇 數 量	鯔魚打網 數 量	雜魚打網 數 量
宗佐村							
船町村						八	
上西条村						三	
中西条村						二	
下西条村						一五	
西之山村						一	一
大野村						七	三
中津村						九	三
荒井村							
合計						二八	四〇
						四〇	七
						六五	一三

第二項 漁船

漁船現數左ノ如シ

種別	二間半漁船	三間漁船	四間漁船
宗依村	一		
上西条村	二		
中西条村	二		
下西条村	二		
西之山村	一		
大野村		一	
中津村		一	
荒井村			七
合計	八	三	七

第六款 漁法

鯉魚漁

打網 鹹水漁業ノ部ニ今シ荒井村調
 建網 漁船一艘ニ七把乃至十把ヲ繫キ流ニ隨ヒ之ヲ
 横遮シテ川中ニ張り置キ後子之ヲ揚ケ其目ニ係ル
 ヲ捕獲ス荒井村調

鯉魚

曳網 河岸波止等深淵ノ所ヨリ二三間ヲ隔テ該網七
 把ヲ連繫シテ水中へ引立置而シテ鵜竿ヲ以テ深淵
 ヲ攪回レテ之ヲ驅逐レ或ハ目張網ヲ投スル等專
 ラ淵中ノ魚ヲ逐ヒ出シ或ハ稽ヲ以テ之ヲ漁ス時ニ
 引網ハ漸次岸際へ引揚ケテ網中ノ魚ヲ収ム該漁業
 ニハ漁船三艘壹艘兼組四人ニシテ内一人ハ櫓押シ

三人ハ網ヲ使用ス又ハ稽ヲ以テ駆逐ス陸ニハ八人ノ漁夫アリテ網網ヲ曳クモノトス西ノ山村調

打網 目張網ト云フ前記曳網使用ニ際シ魚ノ棲息スル所ヲ視察シ之ヲ投入シテ驅リ出スモノトス山西村ノ調査ニ

稽 前記引網使用ニ際シ鯉魚ノ游泳ヲ認メテ之ヲ突クモノトス西ノ山村調

鮎漁

打網 本具ノ内ニ淵打ナルモノアリ使用ハ九月ヨリ十一月頃迄ノ間ニシテ漁船ニ二人ノ漁者兼組三人ハ船舳ニ才ニ常ニ深處魚ノ棲息スルヲ視察シ一人ハ艦ニ於テ舵ヲ取り船ノ進退ヲ主レリ若シ其所在ヲ認メレバ即チ網ヲ投シテ之ヲ捕獲スルモノトシ、此ノ即チ網投リ又破打ナルモノアリ常ニ水涯ヨリ網ヲ使用スルヲ以テ爾カ云フナルヘシ共ニ普通ノ打網トハ大小ヲ異ニセリ其他鵜板使用及打網漁業ノ下ハ揖西郡ニ全シ西ノ山村調

雜魚漁

打網 寄セ打網ト云フ其法概テ加東郡ニ全シト虽モ稍異ナル處ヲ左ニ掲クヘシ先ツ米糠ト土ヲ混合シ團塊トナシ水中ニ沈メ置ク下凡十分間ナリ雜魚其芳味ヲ慕ヒ輻湊ス此ニ於テ打網ヲ投シテ之ヲ漁スルナリ西ノ山村調

鱸漁

曳網 打網 稽 鯉漁ニ全シ

第二章 魚 類

第一款 生産期節

水族ノ生産スル期節先ノ如シ 宗徒村ヨル調

品名	鮎
卵ヲ孕ミタルモノヲ初 メテ捕獲セシ月	九 月
卵ヲ孕ミタルモノヲ最 後ニ捕獲セシ月	十 月
卵ヲキモノヲ初メテ 捕獲セシ月	十 一 月

宗 徒 村

水 産 系

兵庫縣

津・比 生産地

鮎魚ハ瀬又ハ深水ノ礫石ニ産卵ス之ヲ苗場ト云フ宗佐村調
○鯉ハ六月頃水田ニ入り其畦畔等ニ産卵シ後
○河水ノ深キ處ニ出テ生産ス大野村調

系

第四節 漁業

第一款 營業ノ景況

宗佐村 船町村 上西條村 中西條村

明治元年頃ハ鮎魚夥多ナリシカ同二年頃ヨリ漸次減
 少シ一時ハ非常ニ衰頹ノ景況ヲ呈シ為ノニ漁戸モ減
 セリ然ルニ同五年頃夏冬ノ候水甚ク涸レシカ此年鮎
 魚産卵頗ル多ク為ノニ漁戸亦漸ク増加ノ景況ナリ同
 十八年頃ヨリ夏冬共ニ河水充滿シテ涸減スルナク
 隨テ鮎魚生産十分ナラス然レモ漁者ハ却テ増加スル
 ニヨリ漁獲甚ク衰微ノ景況ナリ抑モ該漁業ノ餘暇ニ
 之ヲ兼子タルモノニシテ既往盛時ノ漁獲高一テ年一
 人平均十二貫目ナリシカ近年ハ僅々其三分ノ割合ニ
 居レリ衰微モ亦甚クシト云フヘシ

下西條村 西ノ山村

本村漁業ハ皆農事ノ餘暇ニ之ヲ営ムノ三然ルニ近來農家ノ疲弊ニ陥リタル等ノ為ノ漁者ハ漸次ニ増加スルノ景況ナリ

大野村 中津村

近來遊漁ノ者増加シ従前ニ比スレハ捕額及ヒ漁民ノ數減少ノ景況ナリ

荒井村

本村鰯漁業ハ淡鹹水相兼子タルモノナルカ元來僅少ノ漁者且多クハ餘業ナルヲ以テ従來盛衰ナシ以上各地ノ概況ヲ記述セリ尚左表ヲ掲ケテ一般ノ狀ヲ示スヘシ

漁業概表

漁民 数人	漁船 数艘	叉釣類 数挺	掩網類 数疊	建網類 数把	曳網類 数系	村名
一九	二		八			下西條村
一〇			三			西ノ山村
一六	二		一一			本村
一五	二		一五			農家ノ疲弊ニ陥リタル等ノ為ノ漁者ハ漸次ニ増加ス
二〇	二		三三			ルノ景況ナリ
一〇	一	一	三		七	大野村
三	一	三	七			中津村
三	一	三	九			荒井村
九	七		二八	四〇	四〇	合計
一〇五	一八	七	一三七	四〇	七	

兵庫縣

系

第二款 營業種別

漁業者ノ種別左ノ如シ

種別	宗佐村	船町村	上西条村	中西条村	下西条村	西ノ山村	大野村	中津村	荒井村	合計
鮭魚打網漁者					一〇				七	一七
鮭魚建網漁者									二	二
鯉鱸曳網漁者						一〇				一〇
鯉鱸昇網漁者						一				一
鯉鱸積漁者						一	三	三		七
鮎打網漁者	八	三	一一	一五	一一	一	三	三		五五
雜魚打網漁者					一二	一				一三

系

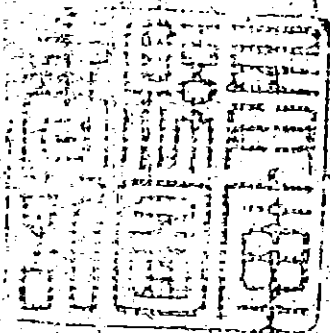
兵庫縣

兵庫縣漁業慣行錄卷之九 終

兵庫縣漁業慣行錄

淡水漁業之部

卷之十



兵庫縣漁業慣行録卷之十 淡水漁業之部

播磨國印南郡

加古川 附支流洗川

第一章 漁制

第一款 按類

第一項 保護ニ關スル事

第二項 漁税ニ關スル事

井ノ口村 國包村 見土呂村 白澤新村 都添村

藥粟村

舊藩時代ニハ運上トシテ年々銀二百目宛本郡都染村

松尾五郎兵衛ヨリ納来リレカ明治六年ヨリ廢止トナ

レリ

養老村 里村 池尻村

舊藩時代ニハ都漆村松尾五郎兵衛及川西友三郎ヨリ
 運上ヲ納メリ故ニ部内漁業者ハ今人ヨリノ下札ヲ受
 ケ札料トシテ升田新村以北即上流ノ村々ハ銀九匁又
 其以南即テ下流ノ村々ハ銀六匁ヲ出セリ然ルニ明治
 三年頃運上廢セラレ一時中絶セシカ同六年ヨリ養老
 村ニ於テ升田新村以北漁場ニ付期限三ヶ年ト定メ一
 ケ年漁税金拾五圓宛ヲ納メ漁業ヲナセリ同九年ニ至
 リ其期満チ且ツ廢稅トナレリ

加古川町 西河原村 友澤村 稲屋村

鮎、鯉、漁業ハ往古ヨリ運上トシテ年々網一疊ニ付二十
 匁宛ヲ納メ維新後廢止トナレリ

伊保崎村

本川支流洗川流末字高須川ニ於テ白魚漁業ヲナスモ

納稅ノ下詳ナラス但漁業全体ニ關セシ漁稅ノ下ハ鹹
 水ノ部ニ掲載ス

第二款 規約及慣例

第一項 保護ニ關スル事

第二項 漁業ニ關スル事

第一節 漁權

井ノ口村 國包村 見土呂村 白澤新村 都深村

藥栗村

北加東郡境井ノ口村字渚ヶ滝ヨリ南流末加古郡高砂ニ至ル凡百四十丁ノ間ハ正保三年ヨリ本郡都深村松尾五郎兵衛取締ヲナス但シ此内字渚ノ滝ヨリ下流升田村迄凡ノ九十丁ノ間今升田ハ五郎兵衛直接取締ヲナシ夫ヨリ以下高砂ニ至ル凡五十丁ノ間ハ加古郡寺家町川西友太郎ハ取締ヲ托シ居レリ明治六年運上廢止ノ後ハ其制亦廢レ爾來一般自由ノ漁業トナレリ

養老村 里村 池尻村

舊藩時代ニ在テ本川漁業取締ノ下井ノ口村ニ令シ但
 シ明治三年頃運上銀廢止ニ際シ取締役モ解ケ其後全
 六年ヨリ三ヶ年ノ期限ヲ以テ升田新村ヨリ上流ノ間
 ハ養老村ニ於テ之レカ取締ヲ為セシカ其期滿チ且ツ
 漁稅廢止ニ際シ爾來漁業一般自由トナレリ
 加古川町 西河原村 友澤村 縮屋村
 加古郡中津村境ヨリ同郡高砂字金市ニ至ル一里餘ノ
 間ハ加古川町、西河原、友澤、縮屋、各村共有ノ漁場トス
 伊保崎村
 本川支流洗川下流字高須川ヨリ伊保崎港迄九十丁許
 リノ間ハ本村白魚漁場トス
 第二節 仲間加入ノ仕来

井ノ口村 國包村 見土呂村 白澤新村 都添村

藥栗村

舊藩時代ニ在テハ新ニ漁業セントスル者ハ升田新村
 ヨリ上流ノ間ハ松尾五郎兵衛夫レヨリ下流ハ川西友
 太郎ノ羨諾ヲ得一人ニ付銀九匁宛ヲ差出レ漁業ス之
 ヲ漁師仲間トス但本村ハ升田新村ヨリ上流ニ於テ漁
 ス明治六年以來該仲間ノ下廢絶ス

養老村 里村 池尻村

舊藩時代ニ在テ新ニ漁業ヲナサントスルモノハ井ノ
 口村ニ同シ但升田新村ヨリ下流ノ分ハ銀六匁ノ下札
 料ヲ取締川西友太郎ハ出金セリ明治三年頃ヨリ其制
 中止シ同六年ニ至リ升田新村ヨリ上流ノ間ヲ養老村
 ニ於テ取締リ新漁者ヨリ下札料一人ニ付金十二錢五

重寔ヲ徴收セリ満期ノ際漁稅廢セラレ爾來一般自由
漁業トナレリ

第三節 他方ノ漁夫來漁ニ係ル手續

井ノ口村 國包村 見土呂村 白澤新村 都添村
藥栗村 養老村 里村 池尻村

舊藩時代ニ在テ漁權ナキモノ取締人ノ承諾ヲ得運上
ヲ納メシメテ之ヲ許セシテ第二節ニ公シ

第三款 犯則違例ノ處分

井ノ口村 國包村 見土呂村 白澤新村 都添村

藥栗村 養老村 里村 池尻村

舊藩時代本川取締人ノ承諾ヲ得スレテ漁業ヲ為ス
ヲ見認メタル片ハ漁師仲間ノ者直ニ取締人へ通知シ
取締人ハ直ニ現場ニ臨ミ其漁具及捕獲物ヲ取り上ク
ルノ例アリタリ但シ漁具ハ後々之ヲ返附セリ又仲間
ノ者他ヨリ出漁ニ來タルヲ知リナカラ取締人へ通知
セサル等ノ下有リタル片ハ取締人直チニ其仲間ヲ除
キタリ

加古川町 西河原村 友澤村 稲屋村

本村共有ノ漁場へ妄リニ入漁スルモノアルヲ見認メ
タル片ハ其漁具ヲ取り上クルノ例ナリ

第二章 漁撈

第一款 種類

第一項 品名

産出ノ水産物品名左ノ如シ

鯰魚

似鯉

鯰

鰻

鮒

鯉

鱸

鮠

雜喉

ギギ

白鮒

支流洗川字高須川流末ニ生産ス

第二項 大小輕重

鯰

采化後一ケ年ニシテ通例トナル其長九六寸此量九三

十日アリヨルノ以下村調査ニ

似鯉

采化生長ノ後其長九一尺ニシテ此量九百二十目アリ

鯨

象化生長ノ後其長九一尺ニシテ此量九八十目アリ

鯉

象化後九一年ヲ經過シ五六寸トナル此量九二年ニシテ九一尺ニ此量九百三年目ニシテ一尺五六寸此量九百四年ニシテ九二尺此量九百及フ之ヲ最モ佳味ノ時トス查如古川町調

鮎

象化後五六十日ヲ經過シ九一寸トナル其際淡鹹水ノ境ニ在リテ漸次遡リ終ニ本川上流如東郡滝野川ノ瀑布ニ至ル其大サ三四寸アリ查如古川町調

ギ

象化生長ノ後其長九一尺ニ至ル此量八十目アリ井村ノ

鱧

以調有全シル

象化生長ノ後其長九一尺八寸ニシテ量二百目アリ

第二款 漁期 第一項 節

捕魚ノ期節如シ

品名	雜魚	似鯉	鯰	鯉	鰻	鮠	鮎	雜喉
井口村、固包村、見吉村、白澤新村、都深村、藥束村、養老村、里村、池尻村	期節	自十一月至四月	自四月至九月	自四月至九月	自四月至九月	自四月至九月	自四月至九月	周年
加古川町	良時季	九月	八月	九月	八月	九月	八月	八月
友澤村	期節	自十一月至三月						自五月至十月
西河原村、稲屋村	良時季	一月						八月
伊保崎村	期節							
	良時季							

白魚	鱸	ギ
	自五月至七月	自四月至九月
		五月六月
	自二月至四月	

第二項 氣象

鮎漁ハ例年五月以後氣候順ニシテ天氣少シク曇リタル日ヲ良トスヨル古川以下全調査ニ
 ○鯉漁ハ例年十二月以後晴天温暖ノ日ヲ最良トス

第三款 漁場

加古川ハ本郡ノ西境ニ沿ヒ南流シテ海ニ注入ス其景況ハ加古郡淡水ノ部ニ詳載ス
 附支流洗川ハ本郡船頭村ニ於テ加古川ヨリ分派シ伊保崎港ニ注入スルモノナリ延長二里七丁ニシテ川幅ハ流末ヨリ上一里即伊保崎村ニ於テ四十八間又同一里廿五丁即米田村ニ於テ四十間トス水色ハ清ク流勢ハ分派ノ所ヨリ米田村迄ハ概テ急ニシテ水底ハ砂石ナリ夫ヨリ下流ハ緩急相半シ水底ハ渾テ細砂ニ屬ス
 本支川沿村ノ漁業區域ハ左ノ如シ但本流漁撈ノ重ナルモノハ鮎鯉ニシテ之ニ亞クモノヲ鯰トス又漁獲ノ盛ナル地方ハ各魚共ニ國包上流末ヨリ見土呂三十九丁ニ里同九丁ニ里同五丁ノ諸村トス

井ノ口村 國包村 見土呂村 白澤新村 都漆村
 藥栗村 養老村 里村 池尻村

鯉、似鯉、鱧、本郡流域内ニ於テ適宜ニ漁撈ス

加古川町 西河原村 友澤村 縮屋村

鮎、鯉、漁場、北本郡中津村境ヨリ南加古郡高砂字金市ニ至ルノ間トス

伊保崎村

白魚漁、洗川ノ下流字高須川ニ於テス即チ伊保崎港ヨリ上九丁許リノ間ナリ

第四款 入會漁船ノ數

第五款 漁具

第一項 漁網及釣具等

漁具現數左ノ如シ

雜魚打網 一名目賣網 數量	鮎鱧淵打網 數量	鯉曳網 數量	鯉打網 數量	鯉網 數量	似鯉網 數量	似鯉網 數量	鯉魚打網 一名目賣網 數量	漁具名
一〇	三		三	二	一	二	七	國包村
五	二		一	三		一	五	井口村
五	一			四		二	七	見土呂村
三							二	白澤新村
六	一		一	三	二	二	二	都漆村
				二				藥栗村
七	一				一	三	五	養老村
一四	五		一〇	四〇	三	六	一〇	里村
				八		一	三	池尻村
		二					五	加古川町
							二	西河原村
							一	友澤村
							三	縮屋村
								伊保崎村
五〇	一三	二	一五	七一	七	一七	五二	合計

白魚網
數器
一名空網

第二項 漁船

漁船現數左ノ如シ

種別	國包村	養老村	里村	池尻村	加古川村	伊保崎村	合計
一問半漁船			三	一			四
二問漁船						七	七
二問半漁船		一					五
三問半漁船	三		四		一		四

第六款 漁法

鰻魚漁

打網 漁期五月乃至十月ノ間ニシテ漁船壹艘ニ該網
 乃鵜繩壹組ヲ備ヘ漁夫二名手傳三人ニテ使用ス其
 法甲ノ磯ニ手傳一人ニ鵜繩ノ一端ヲ持セ置二人ノ
 漁夫ハ漁場ヨリ一丁計リ上流ヘ網ヲ携ヘテ待ツ片
 ハ二人ノ手傳ハ船ニ乘組一人ハ棹サレ一人ハ鵜繩
 ヲ延ヘテ乙ノ磯ヘ達ス此時漁船ハ甲ノ磯ニ居ル手
 傳ヲ目的ニ漕キ登リ一人ハ鵜繩ヲ繰リ縮ムレハ甲
 磯ノ手傳亦徐々繰リ登ル其配置ノ状拾モ月輪ノ如
 クニシテ其繰ニ隨テ輪内ノ區域漸次狭少トナリ凡
 五間計リニ廻リタル片網漁者ハ其輪内ニ一齊ニ網
 ヲ打テ捲ヒ以テ捕獲スルモノナリ又飛打ト唱ヘ單

身川ニ入り打網ヲ使用スルモアリ 國包村調
查ニヨル

似鯉魚

打網 揖西郡鯉打網ニ全シ

モジリ網 漁期十一月ヨリ翌年一月迄ノ間ニレテ氣

候極ノテ冷ナルキ深處ニ潛ムヲ覘ヒ該網ヲ以テ其

周圍ヲ圍ニ置キ稽等ヲ以テ之ヲ驅リ出スキハ該魚

ハ狼狽シテ處ヲ失ヒ遂ニ其網目ニ掛ルモノトス 國包

村調
查ニヨル

稽 同前モジリ網使用ノ際圍中ニ居ル魚ヲ突キ捕フ

ルナリ 國包村調
查ニヨル

鯰魚

拵繩 揖西郡ニ全シ

鰻魚

拵繩 揖西郡鯰拵繩ニ全シ

鯉魚

打網 加古郡ニ全シ

曳網 加古郡ニ全シ

稽 揖東郡ニ全シ

鮎魚

打網 一名秋網 鷓繩ト相携ヘ使用スル丁及飛打ト稱

ハ單身川ニ入りテ打網ヲ使用スル丁鰻魚漁ニ全シ

國包村調
查ニヨル

淵打網 深處鮎魚ノ群居スルヲ見テ使用スルモノト

國包村調
查ニヨル

雜魚漁

打網 一名目責 加古郡ニ全シ

キ、漁

拵繩 拵西郡鯰拵繩ニ全シ

白魚漁

白魚網 檜方六寸角長三尺ヲ十文字ニ組ニ合ス是レ

ヲ梓ト云フ長四尋ノ竹ヲ梓ニ添ヘ其二本ノ竹端ニ

挽一箇ツ、ヲ付ケ海底ニ沈マ而シテ口三尋長サニ

尋ノ網ヲ張リ以テ海底ニ入ル一人ハ艦ノ方ニテ箸

火ヲ焚キ乍ラ棹サシ進ンテ之ヲ抄ヒ捕フルモノナ

リ伊保崎村調

鱸漁

モジリ網 極暑ノ候急流ノ淺處ニ該網ヲ一文字ニ張

リ置キ而シテ深處ノ巢窟ニ到リ淵打網ヲ投シ或ハ

棹ヲ以テ水面ヲ打テ之ヲ脅ス片ハ該魚狼狽シテ下

流ニ出テ下ル尚其後口ヨリ「モジリ網」ヲ一文字ニ張

リ乍カラ追及シテ遂ニ捕獲ス國包村調

淵打網 前項モジリ網使用ノ際ニ用ユルモノトス

兵庫縣漁業慣行録卷之十終

マテガイ

第三章 繁殖

第一款 生産期節

水族ノ生産スル期節凡ノ如シ 井ノ口村ニ伊保崎

品名	卵ヲ孕ミタルモノヲ初メテ捕獲セシ月	卵ヲ孕ミタルモノヲ最後ニ捕獲セシ月	卵ヲキ魚ヲ初メテ捕獲セシ月
鮎	八月		九月
鯉	四月		六月
白魚	五月		十月

第二款 生産場

鮎ハ河口ノ岩石ニ産卵シ孳化ノ後ハ上流ニ遡ル町古川調査
 下ニ全シル以○鯉ハ河中ノ水草ニ産卵シ孳化後上流ニ向フ
 ○白魚ハ四五月頃河口淡水鹹水交リ青藻生シ其底ハ泥ニ
 シテ小石アル處ニ産卵ス伊保崎村調査

第三款 有害物

第四款 蕃殖ヲ謀ル場所

本村ニテ漁スル所ノ白魚ハ元備前國字フクラ浦ニ生産
 スルモノナリシカ元和年間舊姫路藩主池田三左衛門尉
 輝政氏ノ指揮ニ從ヒ其卵ノ産付ヤシ海藻ヲ砂利ト共ニ
 之レヲ取りテ本村ニ移殖シ初メテ字高須川ニ産出シ爾
 來蕃殖シテ現今ノ有様ニ至レリト云フ

伊保崎村調
 査

第四章 漁民

第一款 營業ノ景況

井ノ口村 國包村 見土呂村 白澤新村 都添村

藥栗村 養老村 里村 池尻村

従前ヨリ著シキ變遷ナシ

加古川町 西河原村 友澤村 稻屋村

鮎、鯉漁ハ一時衰頽シ漁戶追々減少ノ景況ナリシカ近

來稍回復ニ赴ケリ

伊保崎村

白魚漁ハ往古ヨリ之ヲ營ミシカ天保嘉永年間ハ盛ニ

シテ安政年間ニ至リ甚ク衰へ慶應ノ頃ヨリ明治初年

迄ハ一時復々盛レナリシモ其後再び不漁トナリ爾來

打續キ以テ近年ニ至ル故ニ其業頗ル衰頽ニ傾ケリ

以上各地ノ概況ヲ記述セリ尚左表ヲ掲ケテ一般ノ状ヲ示スベシ

漁業概表

種別	曳網類 数 量	刺網類 数 量	抄網類 数 量	捲網類 数 量	繩釣類 数 本	叉釣類 数 枚	漁船 数 艘	漁民 数 人
國包村		二		二三	二	一	三	一三
井口村		一		一三	三			三
見吉村		二		一三	四			二
白新村				五				五
都津村		二		一〇	三	二		六
藥栗村					二			二
養老村		三		一三		一	一	八
里村		六		三九	四〇	三	七	一六
池尻村		一		三	八		一	七
加古川町	二			五			一	五
西原村				二				二
友次村				一				一
稻屋村				三				三
保崎村			八				七	一八
合計	二	一七	八	一三〇	七一	七	一七	九一

第二款 營業種別
漁業者ノ種別左ノ如シ

種別	船釣打網漁者	似鯉鱸ノ網漁者	似鯉鱸種漁者	鯉鱸ノ網漁者	鯉打網漁者	鯉引網漁者	鮎鱸打網漁者	雜魚打網漁者	白魚網漁者
國包村	七	二	一	三				一〇	
井口村	三	一		一				三	
見吉村	二	二		四				二	
白新村	二							三	
都津村	二	二	二	三	一			六	
藥栗村				二					
養老村	五	三	一					七	
里村	一〇	六	三	一六	一〇		五	一四	
池尻村	三	一		七					
加古川町	五				二				
西原村	二								
友次村	一								
稻屋村	三								
保崎村									一八
合計	四五	一七	七	三七	一五	二	一三	四五	一八

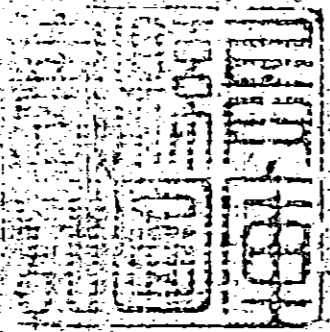
兵庫縣漁業慣行錄卷之十終

兵庫縣

兵庫縣漁業慣行錄

淡水漁業之部

卷之十一



兵庫縣漁業慣行錄卷之十一 淡水漁業之部

播磨國飾西郡

夢前川

山之内村 新庄村 神種村 前之庄村 糸田村

塩田村 杉之内村 古知之庄村 高長村 宮置村

置本村 又坂村 山留村 玉田村

菅生川

筋野村 野島村 戸倉村 古瀬畠村 芦田村

護持村 塚本村

第一章 漁制

第一款 控類

第一項 保護ニ関スル事

漁期 鮎漁、漢季、八田姫路藩主、組合各村ヨリ出願

不詳之上三月ヨリ九月曆ニテト定メタリ且其後今ニ至ルニテ改ムルノ事ヲ實施ス

第二項 漢稅ニ関スル事

旧姫路藩主ニ對シテ川運上ト稱ヘ年々金拾兩ニ歩ヲ納メ廢藩后引續キ尚具額ヲ納メ来レリ

第二款 規約及慣例

第一項 保護ニ関スル事

漢期 點漢期ハ旧藩時代ノ制ヲ襲フテ三月ヨリ九月曆ニテトス

第二項 漢業ニ関スル事

第一節 漢權

北山之内村ヨリ南玉田村ニ至ル又北前野村ヨリ南塚本村ニ至ル各凡五里ノ間ハ山之内村外セケ村ノ共有ニシテ年々該村内望ノ者ハ入札ヲ以テ賣渡シ三月ヨリ十二月ニテハ該落札人ノ自由ニシテ他人ノ漢業ヲ許サズ但該落札金ハ該村ノ地價及ヒ戸數ニ對シテ其村ニ配賦セリ

第二節 仲間加入ノ仕来

第三節 他方、漁夫來漁、係凡手續

第四節 販賣、仕方

落札人漁場ニ於テ小賣ヲ為シ或ハ仲買ノ者ハ販賣ノ代價ハ概テ即金ノ取引ナリ

第二章 漁撈

第一款 種類

第一項 品名

産出ノ水産物品名左ノ如ク

- 蟹カニ
- 鰻ウナギ
- 鮎ササギ
- 雜魚カサゴ

第二款 漁期

第一項 期節

捕魚，期節左，如左

蟹	品名	期節	良時季
自六月至十月			
鮎	品名	期節	良時季
自四月至十月			
雜魚	品名	期節	良時季
全年			

第三段 渾場

夢前川ハ源ヲ本郡山ノ内村字黒瀧ニ發シ南流シテ廣畑
 村ニ至リ海ニ注ク延長十里ニシテ川幅ハ水源ヨリ下九
 五里即宮置村ニ於テ三十間又流末ヨリ上九一里即山崎
 村ニ於テ百五十三間トス水色ハ渾テ清ク流勢ハ源頭ヨ
 リ下九九里廿町並加村邊迄ハ概テ急ナリ水底ハ渾テ砂
 石ニ屬ス以下流末廣畑村川口迄九二十丁ノ間ハ緩急相
 半シ水底ハ渾テ細砂ニ屬ス渾穢ノ主十九モノハ鮎ニシ
 テ盛渙ノ個所ハ前ノ庄村水源ヨリ下五里ナリ
 菅生川モ亦山之内村ニ發シ南流シテ川西新村ニ至リ夢
 前川ニ合ス延長六里ニシテ川幅ハ水源ヨリ下九三里即
 千塚本村ニ於テ三十間又合流ヨリ上九二十丁即冥堂寺
 村ニ於テ五十七間トス水色ハ清ク流勢ハ概テ急ナリ水

底ハ渾テ砂石ニ属ス渾穢ノ主ナルモノハ鮎ニテ古瀬
 畑村水源ヨリ下流ヨリテ以テ盛渾ノ地トス
 渾場ハ夢前川ハ水源ヨリ下流玉田村迄管生川ハ水源
 ヨリ下流椽木村迄ノ間トス

第四款 入會漁船ノ数

第五款 漁具

第一項 漁網及釣具等

漁具現数左ノ如シ

鮎雜魚打網 四十一疊
 雜魚玉叉手網 十五疊

一 節 庫 鼎

第六款 渙法

黏渙

打網 揖西郡 = 同之

韮魚渙

打網 加古郡 = 同之

玉叉手網 揖西郡 韮魚叉手網 = 同之

六 頁 系

第三章 蕃殖

第一款 生産期節

第二款 生産場

第三款 有害物

鮎漁ハ嘉永文久ノ頃ハ盛ニ漁獲アリシカ其後漸々減少
 セリ其原因詳ナラズト云モ惟テニ肥料石灰ノ流行ニヨ
 リ灰汁川中ニ流注シ或ハ近來下流ニ於テ四五月頃其稚
 魚ヲ捕獲スルモノ少ナカラサルニ因ルヘシ

第四章 漁民

第一款 營業ノ景況

本川漁業ハ從來別ニ盛衰アリタルナリ但明治元年頃ニ比スレハ遊漁者増加スルヲ隨テ漁類減少ノ現況ナリ尚其一般ノ現狀ヲ示スニ左ノ如シ

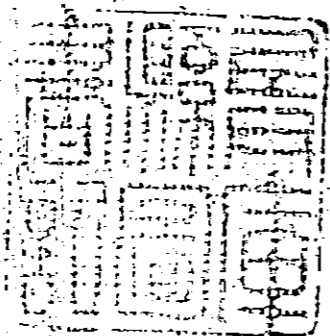
抄網類ノ數	十五疊
掩網類ノ數	四十一疊
漁民ノ數	四十人

兵庫縣漁業慣行錄卷之十一 終

兵庫縣興

兵庫縣漁業慣行錄

淡水漁業之部
卷之十二



兵庫縣漁業慣行錄卷之十二 淡水漁業之部

播磨國 神東郡 神西郡

市川

- 屋形村 西田中村 豐富村 御影村 仁豊野村
- 砥堀村 以上神東郡
- 澤村 谷村 奥村 福壽新村 高岡村
- 西沼村 高橋村 中寺村 土師村 岩部村
- 中仁野村 以上神西郡

第一章 漁制

第一款 徒類

第二款 規約及慣例

第三項 保護ニ関スル事

第二項 漁業ニ関スル事

第一節 漁權

維新前ハ旧領主ノ邊漁場アリテ其リニ人民ノ捕漁ヲナ
スヲ制セシヨシ言傳フニ其確實ノ景況得テ徴スルモノ
ナシ維新后ハ彼我ノ別ナク一般自由ニ捕漁スルノ慣行
ニシテ敢テ漁權ト云フモノナシ

第二章 漁務

第一欸 種類

第一項 品名

産出ノ水産物品名左ノ如シ

- 鮫
- 鰯
- 鰺
- 鰩
- 雜喉
- ギギ

第二項 大小輕重

鮫 生長一寸ヨリ四寸ニ至リ止ム

鰯 生長三寸エテトス

鰺 生長一尺五寸迄ニシテ此量三百目以下トス

鰩 生長一尺五寸迄ニシテ此量三百目以下トス

生長二尺以下ニテ此量二百目以下トス

鮎

生長五寸コテトス

キハ

生長五六寸許コテトス

第二款 漁期

第一項 期節

捕魚，期節左，如之

品名	期節	良時季	品名	期節	良時季
鮎	自五月至五月	九月	鰻	自五月至五月	九月
鱒	自十一月至十一月	九月	鮎	自五月至五月	七月
鱈	自十月至十月	九月	キ	自五月至五月	九月

第二項 氣象

第三項 群來，前兆

第四項 去來，期節及方向

鮎，去來八年，季候ニヨリ異同アリト魚ヲ概テ三月末頃ヨリ來リ九月頃去ル

第三款 漁場

市川ハ源ヲ但馬國朝來郡黒川村ニ發シ神西郡森垣村ニ
 入り概テ神東神西兩郡境界ニ沿ヒ諸水ヲ合セテ南流シ
 神東郡砥堀村ニ至リテ飾東郡保懺村ニ入ル郡内延長凡
 十六里餘ニシテ川幅ハ水源ヨリ下凡十里即神東郡屋形
 村ニ於テ百二十間又流末砥堀村ヨリ上凡二里即神西郡
 溝口村ニ於テ八拾間トス
 抑モ本川ハ水量甚々十分ナラス大雨ノ時ハ一時ニ漲溢
 シテ屢々堤塘ヲ損害ス旱天ニ至レハ概テ乾涸スルニ至
 ル水色ハ渾ヲ清流ナリ流勢ハ水源ヨリ下凡六里即神西
 郡森垣村ヨリ流末神東郡砥堀村ノ郡界ニテハ概テ急流
 ナリ水底ハ渾ヲ砂石トス
 本川沿村ノ漁業ハ別ニ區域ナク各適宜ノ地ニ就テ自由

二 管ムモノトス但漁獲ノ重十九モノハ鰻鯰トス而シテ
 盛漁ノ地方ハ神東郡仁豊野水源ヨリ九
 里ノ二村トス
 神西郡溝口水源ヨ

第四款 入會漁船ノ数

第五款 漁具

第一項 漁網及釣具等

漁具ノ現数左ノ如ク
 但長釣、小釣、鰻釣、竹簾、魚菜、鵝繩、各漁具ノ凡モ其数詳
 十 十 廿 凡 才 以 行 統 計 才 畧 ス

漁具名	船瀬張網		船難魚打網		雜魚叉手網		雜魚前掛網	
	数	量	全	全	全	全	全	全
屋形村	五		六	一	一			
西甲村			一	二	二			
墨島村			二	三	三			
神楽村			二	二	二			
仁豊野			二	三	三			
破區村			五	六	六			
合計	五		一八	一七	二二			
沢村			三	二	二			
谷村			二	二	二			
真村			三	六	五			
福岸 新村			九	五	一			
高島村				一	一			
西沼村				一	一			
高橋村			二	三	二			
清竹村			二	二	一			
中寺村			一	二	二			
土師村			一	二	一			
岩部村			二	一	二			
野村			二	一	二			
合計			二七	二八	二九			

第六款 漁法

ハ工 漁

蚊頭釣 河水急流、所ニ於テ終始釣ヲ垂レテ之レヲ
 搖撼シ恰モ蚊ノ舂クカ如キ景状ヲ為スルハ、魚來
 リテ之ニ掛ルモノトス

鯨 漁

竹籬 小流、所ヲ擇ミ土石ヲ以テ其兩側ヲ堰塞シテ
 流水ヲ一處ニ引キ而シテ、流上ニ笥ヲ掛テ、之ニ置
 リキハ大雨出水、際魚族流來リテ、其中ニ墮リ再ヒ
 出ルヲ能ハサルモノナリ

鰻 漁

竹籬 前項ニ同シ
 釣 揖西郡ニ同シ

鮎漁

瀬張網 打網 揖西郡ニ全シ

雜魚漁

打網 鮎打網ニ全シ

又手網 揖西郡鮎又手網ニ全シ

前搔網 季春ヨリ暮秋ニ至ルノ間大雨、為、河水濁

流スルヲ俟テ渚ニ於テ罾網ヲ以テ水底、泥ト共ニ

搔キ寄セテ捕獲スルナリ

鷄縄 川中縦横ニ引廻シテ魚族ヲ追驅シ皆岩石ノ下

ニ潜匿セシメ置キ鑊玄翁ト櫃云フヲ以テ具岩石ヲ劇打

スレハ魚族ハ其聲ニ眩迷シテ輒テ水面ニ浮リテ捕

獲スルモノトス

小魚釣 蚯蚓ヲ餌トシ之レヲ垂レ以テ捕獲スルモノ

トス

第七款

有害漁法

鴉纜ヲ川中ニ張り魚族ヲ巖石ノ下ニ驅リ集メ玄翁ヲ以
 テ其石ヲ打テ眩迷セシメテ之レヲ捕獲スルヲアリ談漁
 法ハ臭苗ヲ妨害スルト少ナラス又石灰、枿炭、山椒皮等
 有害漁法アリニカ近年ハ漸ク消滅ノ景況ナリ

第三章

蕃殖

第一款

生産期節

第二款

生産場

第三款

有害物

獺、鴉、鴨等來りて水族ヲ害スルト少トカラス又近年稻作
 肥料ニ石灰ヲ施用スルト甚クニキリ以テ川中ニ澱汁ヲ
 注流スルニ魚族ヲ減殺シ且從來但馬國生野鑛山ヨリ鑛
 濁水ノ河流ニ注入スルヲ以テ鮎、來集生育スルト僅少
 ナリモ近年澱鑛淘汰法大ニ改良セシニヨリ鑛毒ノ流
 注減セシニ因ルモノハ漸ク増殖ノ景況ナリ

第四章 漁民

第一節 營業、景況

本川漁業ハ概テ農間、餘業ニシテ僅クニ自家用料、餘
 リヲ販賣スルニ過キス故ニ従来著ク盛衰ナシ尙左表
 ヲ掲ケテ一般、状ヲ示スヘシ

漁業概表

種別	建網類 數量	掩網類 全	抄網類 全	漁民 數人	種別	
					東郡	西郡
屋形村	五	六	二	一	東郡	
西田村		一	三	二	東郡	
喜多村		二	六	五	東郡	
影村		二	四	四	東郡	
長野村		二	六	三	東郡	
砥堀村		五	八	九	東郡	
合計	五	一八	二九	二四	東郡	
沢村		三	四	二	西郡	
谷村		二	二	一	西郡	
奥村		三	一	五	西郡	
種崎村		九	一六	一〇	西郡	
高岡村			二	一	西郡	
西沼村			二	一	西郡	
高橋村		二	五	一	西郡	
溝口村		二	三	一	西郡	
中寺村		一	三	三	西郡	
土師村		一	四	一	西郡	
若部村		二	二	一	西郡	
北野村		二	三	一	西郡	
合計		二七	五七	二八	西郡	

漁業者，種別左，如左
 第二款 營業種別

種別	船滿張網漁者	船雜與子網漁者	雜與子網漁者	雜與子網漁者	神 東 郡				神 西 郡													
					左形村	西野村	豐前村	影村	無量村	磯原村	合計	沢村	谷村	奥村	福野村	高田村	西沼村	高橋村	瀨口村	寺村	土師村	若部村
-	-	-	-	-																		
二	二	二																				
二	二	一																				
三	三	三																				
二	二	一																				
二	二	五																				
二	二	一三																				
二	二	二																				
	一	一																				
五	五	三																				
一〇	五	九																				
一	一																					
一	一																					
一	一	一																				
一	一	一																				
一	二	一																				
一	一	一																				
一	一	二																				
一	一	一																				
二五	二二	二一																				

兵庫縣漁業慣行錄卷之十二 終